

技術分野 材料と加工 授業案

1. 本時の目標

3DCAD を用いて、作品を設計しよう

2. 評価規準

3DCAD を用いて設計することができる【知識・技能】

自分の作りたい作品を設計することができる【思考・判断・表現】

3. 本時の流れ (2/? 時間、授業場所 : パソコン室)

所要 時間 (分)	活動内容	生徒の活動	◆評価基準 ○指導の留意点
5	・ 3DCAD の説明		
展開 10	3DCAD を用いて、自分の生活を変える作品を設計しよう ・ 3DCAD の使い方の説明	・ マニュアルを参考にして、練習問題などに取り組み、CAD で何ができるかを知る。	○マニュアルやスライドを準備し、生徒全員が作業に取り組めるようにする。
5	・ 使う材料の確認		
15	・ アイディアスケッチを行う	・ 自分の生活を振り返り、生活をよりよくできる作品を考える。	○生活をよりよくするにはどういうことを伝え、生徒自身で考えるようにする。
30	・ 3DCAD で構想を表現する。	・ 3D-CAD で板材モード・回	○進度の差があるの

10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな工夫などを盛り込む ・ 材料取り図を考える 	<p>転・移動・切断を活用して、3D-CAD で図面を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに記入する。 	<p>で、一定の時間で区切り、進捗状況を話し合う時間を設ける。</p> <p>◆【知識・技能】</p> <p>◎ 3D-CAD を用いてオリジナルの作品を設計できる。</p> <p>○ 3D-CAD を用いて、自分の作品を設計しようとすることができる。</p> <p>△ 3D-CAD の使用方法について、指導を要する。</p>
10 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価 ・ 次時の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品について、5 観点で自己評価を行う。 	<p>○生活の中の製品が、明確な目的をもって設計できたか確認する。</p>

4. 準備物

教科書・ワークシート・マニュアル・プロジェクター・木材